

Brillia Tower 箕面船場

TOP OF THE HILL

THE IMAGINATION

PAMPHLET

# 未来を紡ぐ音がする

日本の高度経済成長の一端を担い、一時代を築いた箕面船場が、新しい未来を紡ぎはじめています。新駅駅前複合開発エリアに、住宅、商業、図書館、劇場、大学などが集積し、にぎわいにあふれる文化・文教の街へ。景色を変え、イメージを変え、これまでとは違う魅力を発信する街へ。

そのランドマークとなるのが「Brillia Tower 箕面船場 TOP OF THE HILL」。

次の時代への扉を開くタワーレジデンスです。

# THE IMAGINATION

千里中央

北大阪急行線延伸区間

「箕面船場阪大前」駅

箕面市立文化芸術劇場

高層住宅・商業施設建設予定地

箕面市立船場図書館/  
箕面市立船場生涯学習センター

大阪大学箕面キャンパス

**Brillia Tower** 箕面船場

TOP OF THE HILL

駅前複合開発エリア

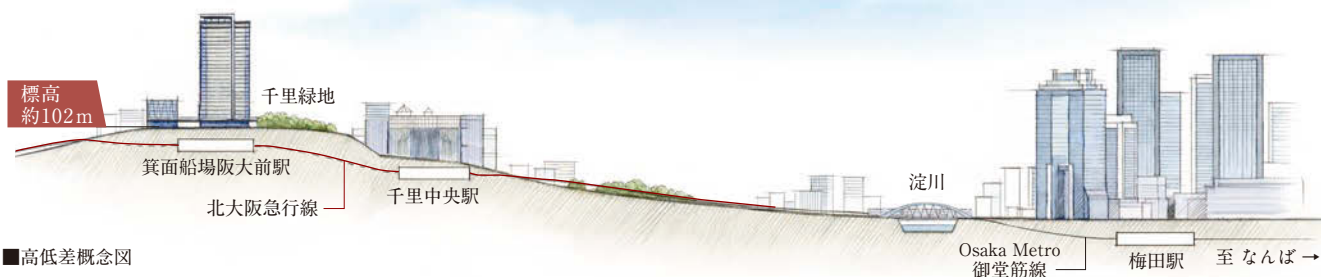
現地周辺航空写真  
※掲載の航空写真は、箕面船場エリアの上空より現地方向を撮影（2021年11月）にCG加工を施したもので実際とは異なります。また、白線部分は「Brillia Tower 箕面船場 SKY&GARDEN」の売主3社が事業主として計画している建物を表現しており、計画段階の図面を基に表現しており外観形状の細部、設備機器、電柱、電線等につきましては表現しておりません。（2024年3月時点）また、現地の位置を表現した光は、建物の高さや規模を示すものではありません。

北摂の空に、高々と浮かび上がるタワー。



外観完成予想CG

**Brillia Tower 箕面船場**  
TOPOF THE HILL



■高低差概念図

標高約102mの高台に生まれる、高さ約100mの建築美。全397邸を擁する地上30階建の免震タワーレジデンスは、高層ビルの建設が制限されている北摂・箕面において、ひととき存在感を放ちます。窓の向こうに見晴らす空。彼方まで続く街並み。眼下に広がる千里緑地の樹林。心を解き放つ、その開かれた風景とともに、清々しく健やかな日常がはじまります。

※掲載の高低差概念図は、大阪梅田エリアと本物件の計画地の土地高低差を描いたもので建物の形状・色等は実際とは異なります。本物件・梅田間の距離・河川・建物・樹木などについては一部省略および簡略化しており、実際とは異なります。本物件が位置する標高102.9mおよび梅田が位置する標高0mは国土地理院地図調べ(2022年3月時点)※掲載の写真は、現地約80mの高さ(23階相当)の位置から千里中央方向をドローン撮影(2021年3月)し外観完成予想CGを合成加工したもので、実際の住戸から撮影した眺望ではありません。写真に合成した外観完成予想CGは、計画段階の図面を基に描き起こしたもので、形状・色等は実際とは見え方が異なることや変更する場合があります。なお、外観形状の細部、設備機器、周辺建物、電柱、電線等につきましては表現していません。



「箕面船場阪大前」駅前広場完成予想CG

箕面船場阪大前  
(2024年3月23日開業)



千里中央



新大阪



梅田



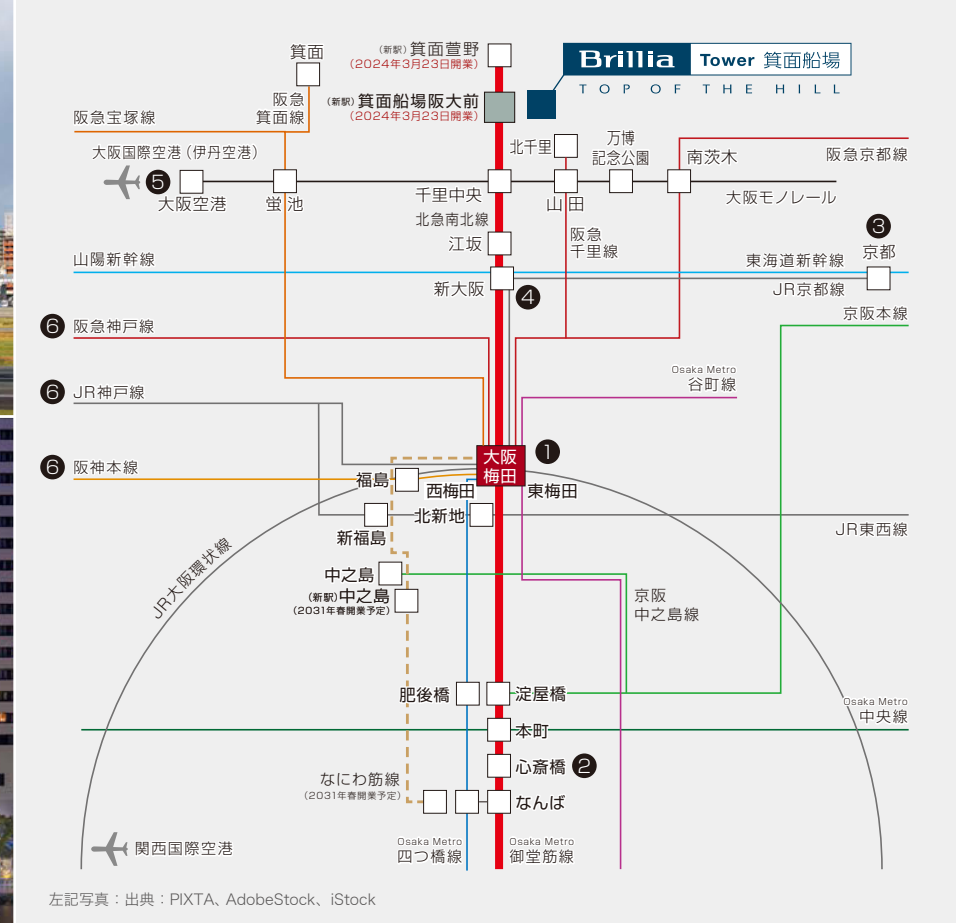
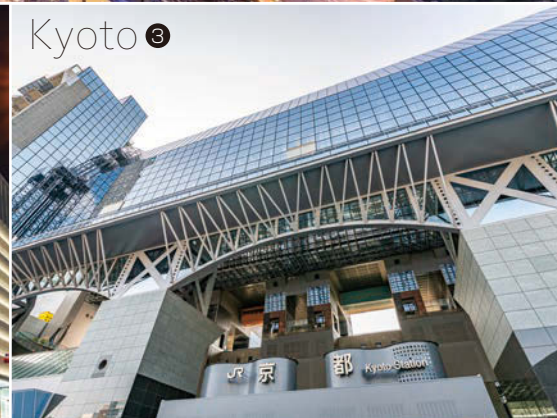
淀屋橋

本町・心齋橋・なんば

御堂筋線直通・北急延伸<sup>\*1</sup>。  
それは、北摂の暮らしを  
変えるだろう。

1970年、大阪万博開催。時を合わせて北大阪急行南北線は開  
通しました。あれから半世紀。ずっとささやかれてきた待望の延伸  
計画が、ついに実現へ。新駅「箕面船場阪大前」駅が生まれ、北  
摂・箕面と御堂筋線がダイレクトにつながろうとしています。あふれ  
る自然、良好な住環境、整えられた教育環境。そこに利便性という  
魅力を手にする北摂・箕面は、新たな都市生活をかなえる舞台と  
して期待が高まっています。

\*1 北大阪急行南北線延伸区間 (2024年3月23日開業)  
※掲載の写真は全てimage photoです。[出典:PICTA, AdobeStock, iStock]  
※掲載の「箕面船場阪大前」駅前広場完成予想CGは、箕面市が発表したCG(2020年12月発表、2023年  
度開業)を基に作成したもので、実物と異なる場合があります。また、白線部分は本プロジェクトの売主3社が事業  
主として計画している建物を表現しておりますが、高さ・詳細形状等の建築計画が未決定のため、最大形状で表  
現しており、実際とは異なります。(2022年3月時点)



# TRAIN ACCESS

都心へ直通。さらに、全国へのアクセスも快適に。  
 御堂筋線と相互直通運転を行う北大阪急行南北線の延伸により、  
 新駅から都心の主要駅へのダイレクトアクセスが実現。  
 新幹線が行き交う新大阪や、国内線が発着する  
 大阪国際空港(伊丹空港)も身近になります。

# 縦横無尽の交通網で、スムーズに目的地へ。

北摂の大動脈、新御堂筋がすぐそばに走るロケーション。  
 新名神高速道路や名神高速道路、さらに中国自動車道のインターチェンジも身近で、  
 遠方に向かう際にも高い利便性を発揮します。

# CAR ACCESS



右記写真：出典：提供写真、PIXTA、AdobeStock、iStock





「箕面船場阪大前駅イメージ」完成予想CG



「箕面船場阪大前駅イメージ」完成予想CG



キャンパスイメージ (image photo)



キャンパスイメージ (image photo)



**D** 大阪大学箕面キャンパス (徒歩2分/約110m)

外国語学部が学ぶ「グローバル人材の育成拠点」の役割を担う都市型キャンパス。社会に開かれたキャンパスを掲げ、学生食堂は地域住民にも開放。市民講座も開催されています。

**A** 箕面船場阪大前駅 (徒歩3分/約210m)

新駅「箕面船場阪大前」駅は地下階に誕生。地下空間でありながらも自然光が降り注ぐダイナミックな吹抜け空間がデザインされており、2階ペDESTリアンデッキまで直通するエスカレーターが設置されます。



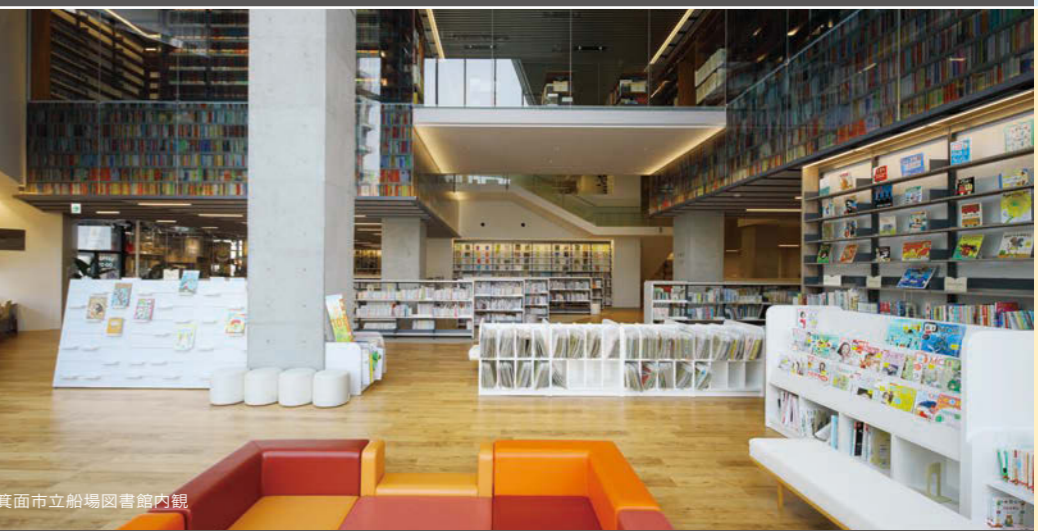
「駅前広場イメージ」完成予想CG

**B** 駅前広場 (徒歩3分/約210m)

新駅の開業とともに、新しい憩いの場となる駅前広場が完成。イベントなどの開催も可能です。



駅前複合開発エリア概念図



箕面市立船場図書館内観

**E** 箕面市立船場図書館／箕面市立船場生涯学習センター (徒歩2分/約100m)

図書館では市の蔵書11万冊に加え、大阪大学の多言語・多文化研究に関する蔵書約60万冊を市民も閲覧可能。船場生涯学習センターでは音楽スタジオや屋外運動場などの貸出も行っています。



駅東口複合開発エリアCG 出典：箕面市

**C** ペDESTリアンデッキ (徒歩3分/約190m)

複合開発エリアの施設はペDESTリアンデッキでつながります。駅からエスカレーターでデッキに上がると、「Brillia Tower 箕面船場 TOP OF THE HILL」までの道のはフラットで、車道や信号もなく安心して快適です。



駅東口複合開発エリア・ペDESTリアンデッキ



小ホール



コンサートイメージ (image photo)



大ホール

**F** 箕面市立文化芸術劇場 (徒歩2分/約140m)

コンサート、パレエ、ミュージカル、演劇などを観賞できる1,401席の大ホールは、試写会、講演会などに利用することも可能。300席の小ホールも発表会や演奏会などに利用できます。

※掲載の環境写真は2021年8月・12月・2022年3月に撮影したもの、提供写真及びimage photoです。[出典：AdobeStock] ※周辺環境は変わる可能性があります。※掲載の「箕面船場阪大前駅イメージ」完成予想CG及び「駅前広場イメージ」完成予想CGは、箕面市が発表したCG(2020年12月発表、2023年度開業)を基に作成したもので、実物と異なる場合があります。※掲載の駅前複合開発エリア概念図は、箕面市が発表した概念図(2020年12月発表)を基に作成したもので、建物の形状・距離・色等は実際とは異なります。駅前複合開発エリアの位置関係が分かるよう、一部の建物のみを凡その大ききで作図しており、周辺の道路・建物などについては一部簡略化しております。また表現されている千里緑地は凡その範囲を示したものです。なお、表現されている周辺建物・施設等は2022年3月時点のものです。※徒歩分数は、80mを1分として算出し、端数は切り上げております。